

鈴木大拙博士没後五十周年記念展

本年七月、也風流庵大拙居士没後五十年を迎えることになりました。そこで、多摩美術大学のご協力を頂き、大拙居士の人徳によって設立された「松ヶ岡文庫」の所蔵する書籍、美術品、骨董品などの収集品を展示、公開することになりました。今回の展示品の中には、初めて展示、公開するものが多数あります。また、今年度の本財団『松ヶ岡文庫研究年報』第二十号には、松ヶ岡文庫設立の経緯について、永年、文庫の事務職として文庫の運営を守って下さった伴勝代女史に、文庫の歴史の整理をお願いし、その一部を発表致しました。展示会の図録等と併せてお読み頂ければ、文庫の設立及び存在意義も深くご理解頂けると思います。

今回の記念展によって大拙居士の研究生活、禅の修行等、大拙居士の生涯をご理解頂くと同時に、禅の発展を祈念する次第です。